



今月の一枚

バス旅行参加者（令和6年6月27日・石山寺仁王門前にて）

順慶寺だより



印刷・発行 順慶寺
2024年(令和6年)

7月号

VOL.369

◆◆ 護寺会バス旅行 ◆◆

順慶寺護寺会では、一年に一回護寺会バス旅行を実施している。これは、むつみ会発足以来続いてきたバス旅行に護寺会が便乗させていただきに端を発する。最高、バス四台という記録も出たバス旅行だったが、コロナ禍で休止に追い込まれ、ようやく令和6年に5年ぶりの復活となった。

◇ 嘘も言い訳も同じこと ◇

今月の釈尊の言葉は、『ダンマパダ』より、

「嘘をつく人。

自分でしておきながら、

わたしはしませんでしたという人。

この両者は死後には同じ境遇になる。

ともに下劣な行いとした人たちなのだから。」

(第三〇六偈)

からの出典です。

このごろのウクライナ戦争、ガザ戦争、台湾問題、…、様々な問題が起こるたびに、誠実な人が対話による外交を行えば、もっと違う方向になるのではないかと思いつつ、今回の言葉を選ばせていただきました。

今月の出典は、釈尊が祇園精舎におられたとき、スンダリーという女性について書かれた一節からです。

釈尊と弟子たちがつくった教団は、日に日に入らから尊敬されるようになり、外道の人々からは、嫉みに似た批判が相次いでいました。

そうした中で、スンダリーという美しいバラ



今月の釈尊の言葉

嘘をつく人も

言い訳をする人も

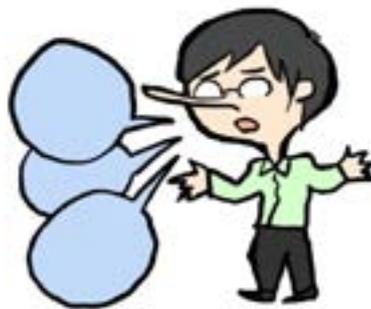
同じ世界に導かれる

◆ダンマパダ(法句経)
第三〇六偈より

釈尊を陥れようとした外道とその仲間たちが、やがて仲違いをから秘密をばらして処刑されていきます。



若院のテーマカット NO.62



モンの女性を使って、釈尊の名誉を傷つけようとしていました。ある日、スンダリーが派手やかな飾りをつけ香料をふりかけ、祇園精舎に向かいました。途中、「今晚は人々にはゴータマ(釈尊)と過ごします」と話し、翌朝には、「昨晩はゴータマを喜ばせました」と応えて帰っていききました。その後、①外道たちは、ならず者を頼んでスンダリーを殺させ、ゴータマの近くに捨てさせました。そして、ゴータマが弟子を使ってスンダリーを殺させたというデマを流しました。釈尊は、その事実を知らされると、嘘をつく人も自分でしておきながらしてないという人も、

やがて地獄に墮ちるのでと言ったそうです。事実、ならず者が内輪もめからばらした真実により、外道もならず者も処刑されました。

◆知らなびで行うことの恐ろしさ◆

仏教を同朋大学で学びはじめたころに、人間学という科目がありました。その中で、「犯罪を犯したとき、知って犯す場合と、知らずに犯してしまふ場合とどちらが罪が重いか」という問いを出されたことがあります。

仏教を学びはじめだったこともあり、当然、知っていて犯した方が罪が重いというのが答えだと思っていたら、実は、先生から出されたのは、知らずに犯してしまふ方が罪が重いという答えでした。これは、釈尊が弟子の阿難に答えた話が元になっています。

阿難が「知って犯した罪と、知らず

①【外道】

インドにおける本来の意味は、渡し場・沐浴場・霊場を作る人のことで、一派の教祖を意味する。外道という漢訳語の原語にあたる言葉としては、他の教えを語る者と、他の宗派の僧・教祖がある。

中国や日本においては、元来、外道とは、仏教以外の教え、またそれを信奉する人びとを総称した呼称。インドに仏教が興ったころマガダ国に存在

に犯した罪はどちらが重い罪でしょうか」と尋ねると、釈尊は、「それは知らずに犯した罪の方が重いのです」と答えたといいます。

もちろん、阿難は納得が行かずその理由を問いました。すると、釈尊は「焼け火箸を焼け火箸と知って握ると、知らずに握るのはどちらが火傷を負いますか」と聞き返します。阿難は「勿論、知らないで握る方が大やけどをします」と答えました。

釈尊は、「悪いことだと思いがながらすることは、恐れながらするから被害は少ないが、悪いと思わずことからすると大きな被害を出してしまうのです」と答えました。

自分は善いことをしていると行いをすることの恐ろしさ、他人のことを知らずに行うことの浅はかさを知らされるお言葉です。

した、ヴェーダの思想から外れた自由思想家たちの中でも極端なものや異教の思想を指して言った。それらをもう少し特定する形で「六師外道」と呼ぶ。(Wikipediaより)

②【六師外道】

釈尊とおよそ同時代のマガダ地方あたりで活躍した、釈迦に先行する6人の在野の思想家たちを、仏教の側から見て異端だと見なし、まとめて指すための呼称。



阿弥陀様はなぜ蓮の花の上にお立ち下さっているのですか？

阿弥陀様が蓮の上にお立ち下さっているのをよく気がつきましたね。

蓮の花は、高原の綺麗な水で咲くのではなくて、どろどろと水が濁ったため池などで、泥にまみれず美しい花を咲かせるので、尊い花といえます。ちょうど、私たちの心がどろどろと濁っている、その中に仏さまのお心が花を開かせることが連想させられます。

ほとんどの仏さまは、蓮の花の上から出てくださっていますが、座っておられる仏さまと立っておられる仏さまがあります。座っておられる方を坐像、立っておられる方を立像といえます。

それでは、坐像と立像とはどう違うのでしょうか。すわっておられる仏さまは、清らかなお心で座禅をされて瞑想しておられることを連想します。一方、立っておられる仏さまは、立ってお心を伝えようとされることが連想できます。

順慶寺にある阿弥陀様は、立っておられる仏さまですが、これは、大変な生活をしている私たちを心配して、家の中で待っておれず、玄関まで出迎えてくださる親ごころに等しいとお話しています。立っておられる仏さまは、ありがたいですね。

《第五一回 石山寺》

6月27日、護国会バス旅行で石山寺に参詣させていただきました。

紫式部や松尾芭蕉、島崎藤村など教科書で見たことのある文人がこの地を訪れていた事でも有名です。

また、蓮如上人が修学された場である蓮如堂も拝観させていただきました。

歴史の名を連ねる人と同じ場所を参詣したことに、得も言われぬ感慨深さがありました。

お寺とともに

「共生」

梅雨に入り、今年も本格的な夏の暑さがやってきました。

先代の住職が元気だったころ、当時改築したばかりだった門扉の植え込みに相応しいサザンカが根を下ろすように、夕方になると汗を拭きつつ、ホースで大切に水やりをしていた姿を思い出します。

昨今の温暖化に伴う酷暑で、甲斐なくサザンカが枯れてしまった箇所があったので、それならばと、十年ほど前に紫陽花に詳しい役員さんをお願いして、紫陽花を植えていただきました。

毎年強い日射しの中、「紫陽花でもちよつと無理だったかなあ」とお世話していたのですが、何と、今年はずぐ隣のクチナシの花にもぐりこんで、鮮やかな青い花を咲かせてくれました。まるで、クチナシの白い花と青い紫陽花が一本の木のようにでした。近年、「共生」という言葉を耳にしますがまさに植物の共生を見た思いでした。



護寺会主催のバス旅行

紫式部も喜んだ深緑の石山寺を訪問

さる、6月27日、順慶寺護寺会主催のバス旅行が実施されました。バス一台満員の五十名の参加者で、「光る君へ」ゆかりの石山寺などを訪問しました。令和元年に実施して以来、コロナ禍で実施されていなかった、順慶寺護寺会バス旅行が5年ぶりに開催されました。5年前から役員もすべて入れ替わり、新たな旅行のスタートとなりました。バス旅行の直前に、梅雨入りとなりましたが当日は何とか天気も持ち直しました。翌日の一日、そのおかげで、炎天下の日程を避けることができたのは幸いでした。

深緑の石山寺

最初の訪問地は、大河ドラマ「光る君へ」ゆかりのお寺である草津・石山寺。石山寺は、瀬田川のほとりにありながら、その名の通り石山に建てられた観音様をまつるお寺です。その風光明媚な景観から、昔から貴族の保養地として利用されたこともあり、紫式部もこの場所でお書物を書かれたとされています。石山寺では、急な山道



石山寺本堂にある源氏の間



石山寺本堂の登り



石山寺の多宝塔を望む

を上がったところにある本堂をお参りし、その後、ボランティアガイドの先導のもと、歴史探訪班、健脚班、ゆったり班に別れて境内を散策させていただきました。深緑の中の石山寺に、癒されるひとときができました。

睡蓮のきわだつ水生植物園

お昼を石山寺門前の洗心寮でいただき、その後、美しい瀬田川の河畔を通り、草津市水生植物園に向かいました。瀬田川から北へ雄大な琵琶湖湖畔を走ると、琵琶湖大橋の手前に烏丸半島という半島の中に、植物園がありました。ここは、水生植物園の名の通り、水に関係のある植物が育てられています。水に、とくに広い園内のいたるところに、色とりどりの睡蓮があり、そのあまりの美しさに時のたつのをわすれるほどでした。

ちょうど、蓮の最盛期で、様々な種類の蓮の花が咲いていました。

最後に、近江八幡に立ち寄り、イタリア語で丘を意味する「ラコリーナ」近江八幡という、老舗菓子店「たねや」が運営する、新しいテーマパーク風の店舗でお買い物をしました。

帰りには、住職の思い出のお菓子という近江八幡銘菓の「でっち羊羹」がサービスされ、ビンゴをしたり、クイズをしたりして、一同楽しく帰路につきました。

6月度護寺会物故者

見水院釋尼妙正

5月29日寂 加藤正子(87)

刈谷市 加藤成仁様の母

成実院釋正観

6月15日寂 原田正夫(84)

今川西組 原田宮成様の父

薬師院釋尼妙宣

6月10日寂 加藤宣子(99)

岡崎市 加藤己見代様の母

精妙院釋雅楽

6月20日寂 池田雅博(87)

大屋前川組 池田雅実様の父

編集部短信

◆小学生が寺院見学 5月29日、31日の両日、近隣の富士松南小学校三年生の子供たちが、順慶寺を見学した。子供たちから、「池浦山って書いてあるけど山は何処?」とか「高橋先生の碑があるけど、お寺に先生が来たことがあるの?」などの小学生らしい質問があった。

編集雑記

◆二十一組同朋教室開催 6月21日、二十一組主催同朋教室の二回目を泉田町・西念寺にて開催。五十名ほどの参加者があった。

◆むつみ会でゆるふわ体操 6月5日、4年ぶりの再開となったむつみ会でゆるふわ体操を開催。今川町の橋本久美子先生から、体のこわばりをとり、血流をよくする体にやさしい体操を習った。ヨガやストレッチより体への負荷が少ないので、中高年にはうってつけと好評価。



橋本久美子先生

先日、三河別院で作法の稽古をする機会がありました。格式の重い儀式の稽古だったので、装束は厚手のものを着たのですが、少し動くだけでも汗が噴き出るほど暑かったです。かといって薄いものを着るわけにもいきませんし、心身ともに稽古をつけていただいた機会であったなと思います。(若)



7月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番
1	月	(有志)寺カフェ(9:00~、順慶寺南落間他)	
2	火		
3	水		
4	木	防蟻工事(本堂・書院・庫裏、施工両宮シロアリ)	木-1
5	金		
6	土	順慶寺こども会(9:00~、順慶寺本堂)	
7	日		
8	月		
9	火		
10	水		
11	木		木-2
12	金	定例責役総代会(19:00~、順慶寺玄関)	
13	土	助音講(16:00~、順慶寺玄関)	
14	日		
15	月		海の日

16	火		
17	水		
18	木		木-3
19	金		
20	土		
21	日	真宗講座(16:00~、順慶寺本堂)	
22	月		
23	火		
24	水		
25	木		木-4
26	金	上半期教化委員会(14:00~、順慶寺本堂)	
27	土		
28	日	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺本堂)	
29	月		
30	火		
31	水		

7月行事内容 詳細

防蟻工事

7月4日(木)・5日(金)

7月早々、(株)雨宮シロアリによって、本堂、書院、庫裏の防蟻工事が実施されます。

護寺会では、当初、防蟻工事を実施する予定をしておりましたが、保証期限が来たことや大幅な割引が呈示されたこともあり、役員の中で緊急動議がなされて、急遽、防蟻工事を実施することになりました。

工事期間中は、本堂等の使用には一部制限がでる可能性がありますので、原則、使用不可とさせていただきます。

定例責役総代会

7月12日(金)

上半期の定例責役総代会が開催されます。

上半期の会議の中心議題は、順慶寺一般会計の令和5年度会計報告が中心となります。

順慶寺として非課税となっている会計は、一般会計(住職が取り計らう会計)、護寺会会計、墓地会計の三部門に分かれており、一般会計は、責役総代会にて審議がなされることになっています。

お知らせ

●寺カフェで「ちよこつ」体操

7月1日の寺カフェでは、刈谷市の福祉事業の一環として、各地で実施されている「ちよこつ」体操を本堂の一角をつかって、朝10時から行う予定です。

ビデオから流れたインストラクターの動きに合わせて、体を無理なく動かすことで、元気になるようにします。

「ちよこつ」体操は、寺カフェに来られた方、興味のある方は

どなたでも参加できます。好評であれば、今後継続的に行いたい担当者のお話です。

●7月8日のこども会について

7月8日の順慶寺こども会は、通常第三土曜日に開催していますが、変則的な日程にしますが、左記に示しますので、間違えないようお願いいたします。

記

7月6日(土)七夕飾りをしよう
8月1日(木)寺カフェと合同開催

じゅんこのときめき歳時記



みなさん、いよいよ梅雨に入りましたね。今年は梅雨入りが遅かったようですが、大雨は大丈夫でしょうか。

7月のはじめごろが、「半夏生」という節句だと聞きました。梅雨の終わり頃に、半夏(烏柄杓)という毒草が生えるので、農家の皆さんは、このころになると、田植えなどの農作業を控えるのだそうです。その他にも多くの毒草も生えてくるので、外での作業は危険がいっぱいだったんですね。

ところで、半夏生のころ、関西ではタコを食べる習慣があるのだそうですね。

です。これは、田んぼに植えた稲がしっかりと根付くようにたこ足をたべるといのが習慣になったようですよ。そう言えば、関西ではたこ焼きは美味しいですから、何だか関連があるように感じます。

半夏蛸とは

化けて出る蛸かとも

後藤比奈夫

